

黒松内小学校 学校だより 令和5年度 10月号



ぶなの里

黒松内町立黒松内小学校 令和5年11月6日発行
TEL 0136-72-3023 FAX 0136-72-4601

《 教育目標 》

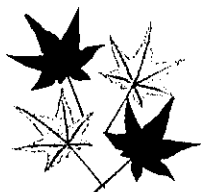
ブナ北限の里を愛し、
たくましく未来を拓く
子どもの育成

かしこく

やさしく

たくましく

自然に浸りつつ・・・不思議さに気付く



教頭 北川美香

紅葉が山々に彩を添える季節となりました。また、先日は、雪虫が大量に発生し、視界が白くなるほどでした。雪虫は、「雪蝨（ゆきぼたる）」「雪婆（ゆきばんば）」「白粉婆（しろこばば）」「大綿虫（おおわたむし）」「大綿（おおわた）」という呼び方もされるそうです。皆さん、ご存知のように、冬の訪れを告げる虫です。

子どもたちが、普段生活している中で、自然に浸って季節を感じたり、自然の不思議さに気付いたりできるといいですね。

1学期のことになりますが、朝 登校時の玄関先で子どもたちを迎えているときのことでした。数人の子供が、集まって何かを見ていました。中には、しゃがみこんでいる子どももいました。何を見ているんだろうと思い、近づいてみると、右の写真の虫を見ているところでした。「わー!」「なんだろう?」「飛べないのかな?」「今先生に聞いてみよう」などと、言う声が聞こえてきます。ある朝の少しの時間の出来ごとでした。



このように、自然の不思議さを感じる力は、幼少期から小学生の時に実体験を通して見たり、聞いたり、触れたりする中でも育まれるものだと思います。本校では、9月～12月には、体験活動・表現活動の深化に重点を置いて教育活動を展開していきます。そのような活動の中で、成功体験を増やししながら子どもたちの成長を支え、自己肯定感の高まりにつなげていきたいと思っています。

最後になりますが、先日の140周年地域学芸会では、多数のご来賓・保護者・地域の方々にご来校いただき、ありがとうございました。今後も、家庭・地域・学校で子どもたちのがんばりを認め・励まして、共に育ててまいりたいと思います。

ご支援・ご協力をお願いいたします。

140周年記念地域学芸会

10月21日(土)、140周年記念地域学芸会がありました。今年度は、コロナ禍明けの学芸会となり、保護者も地域の方も開演から終わるまで、子どもたちの練習の成果をゆっくりと観ていただくことができました。

今年度のスローガンは、「～黒っこミュージカル～自分の限界に挑もう!!」でした。各学年のまとまりや担任の演出の工夫を感じる記念すべき学芸会となり、会場はたくさんの拍手であふれていました。

保護者の皆様におかれましては、衣装の準備や毎日の練習への励ましの言葉などご協力いただき、ありがとうございました。11月の一斉参観日や12月の140周年記念式典・音楽交歓会等でも、子どもたちの頑張る姿を見に来ていただきたいと思います。

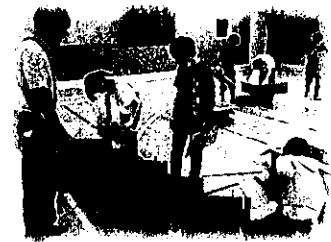


一日防災学校～防災教室～

役場総務課の方を講師に、「防災教室」が行われました。

自然災害に対する正しい知識を持ち、自ら考え、判断できる力を子どもたちに養うために、道・市町村と連携・協力して実践的な体験活動を行うものです。今年度は、さくら学級4・5年生が、防災食の説明や試食、段ボールベッドの組み立てなどを体験させていただきました。

町が備蓄している防災グッズについて、体験を通して学ぶことができ、防災への理解を深めることができた有意義な学習となりました。



5年生 稲刈り学習



今年度も、小坂さんの田んぼを借りて稲刈り体験をさせていただきました。立派に育った稲を、鎌を使って丁寧に刈っていきました。3学期は、できたもち米で、餅つき体験をさせていただく予定です。

地域の特色を生かした教育活動を行わせていただける黒松内町のご協力に感謝いたします。

3年生 社会科見学

3年生は、社会科見学に行ってきました。トワヴェールⅡさんの工房の見学や工場の説明をしていただきました。ピザやアイスクリームもごちそうになりました。

右の写真は、とうふ処みうらさんでの見学の様子です。大豆の作り方・原料・仕入れ先・働き方など、たくさんのお話をさせていただきました。9月で閉店してしまったので、とても残念です。

3回目の見学では、トワヴェールさんと黒松内銘水さんへ行く予定です。



お知らせ

職員の休職等に伴い、学校の体制を次のように変更しています。

4年担任…新谷柚紀教諭→奥山文康教諭
あおぞら学級担任…奥山文康教諭→教頭

お願い

11月となり、帰宅時刻が16:30となります。不審者対策にもつながりますので、ご家庭でも、お子さんと確認してくださるようお願いいたします。